

現地審査(ヒアリング)の時間割一例

WLB・・・ワーク・ライフ・バランス

時間例	ヒアリング対象	質問ジャンル／内容
9:30～10:20 (50分)	院長、副院長、事務局長など 経営委員会メンバー	経営陣の考え方と関与の深さについて。
10:20～11:00 (40分)	事務部長、事務課長など事務管理職	人事制度/規則/施設について。
11:00～11:40 (40分)	診療科部長、看護部長、薬剤部長など、 医療部門管理職のうち、計3～5人	柔軟な勤務形態とWLB支援の理解と周知などについて。
11:40～12:20 (40分)	午後にヒアリングするWLB支援を受けている方を現場で支えている上司の方	WLB支援の実態について。
12:20～13:00 昼食	病院内食堂で昼食、または会議室（ヒアリング現場）で弁当	
13:00～15:30 WLB支援を受けている方々と、WLB支援対象者のいる現場でサポートをしている方々を順番にグループインタビュー	WLB支援を受けている方、およびその方を同僚として支える立場の方へのヒアリング。医師（最低1名は含む）、看護師、薬剤師、コ・メディカル、事務職員など、男女不問。 ●但し、支援を受けている方と支える方は、別にグループインタビューする形で行う。	WLB支援の実態について。特に <u>支える立場の側のスタッフの意見を重要視する。また、現場の方の率直な意見を語れる状況でのヒアリングとする。</u> <u><※注1></u>
15:30～16:00 (30分)	施設見学（院内保育所、図書室、休憩室、宿直室、その他の特徴的な施設など）	WLBに関連する特徴的な施設などを見学。
注意点	※注1 午後のヒアリングの際は、受審病院のスタッフの方は席を外していただくようお願い致します。	